

投資事業評価調書(継続:再評価)

部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 竹谷徹 (三木自行)	内線	4389 (4401)
事業種目	道路	事業名		事業区間	総事業費
		(町)青下花口線 地方道路交付金事業		美方郡温泉町岸田	内用地補償費
所在地		事業採択 年 度	着工年度	完成予定 年 度	進捗率 (内用補進捗率)
美方郡温泉町岸田		H7	H7	H20	51%(100%)
事業目的			事業内容		
<ul style="list-style-type: none"> 本路線は県道を補完する路線であり、重要構造物である橋梁を含む高度な技術力を要するため、県代行事業により道路整備をおこなうことで過疎地域の自立促進を図る。 本路線は、青下地区への唯一のアクセスルートであり、積雪、凍結時の車両の通行を確保し、年間を通しての緊急自動車の乗り入れを可能とすることにより、冬期の孤立状態を解消し民生の安定を図る。 県が主体となり整備を行っている上山高原エコミュージアムの拠点施設(中学校統廃合による既存校舎を活用)とサブ拠点施設(公民館を活用)を結ぶルートとして本路線を整備することにより、上山高原エコミュージアムの利用を促進するとともに、都市部との交流を活発化し、過疎地域の自立促進を図る。 			道路改良(バイパス)L=2,015m 計画交通量:500台/日 計画幅員 :W=5.5(7.0)m 2車線(歩道なし) 重要構造物:橋梁4橋 (L=93.0m,41.7m,54.0m,39.5m) 現況交通量:200台/日 現況幅員 :W=3.0~4.0m (負担割合 国: 5.5/10 ,県: 4.5/10)		
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 冬期孤立集落の解消を図るため、過疎地域自立促進特別措置法に基づき温泉町に代わり兵庫県が平成7年より代行施行している。 工事進捗(H15末):改良 2,015mのうち 1,300m整備済(舗装は未整備) 用地取得(H15末):48,767㎡のうち 44,817㎡取得済【全体の92%】 地域全体の合意形成は図られており、境界問題、相続問題等で時間を要したが、H16年度末に用地取得完了 				
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 積雪、凍結時の車両の通行を確保することにより、年間を通しての緊急自動車の乗り入れが可能となり、冬期の孤立状態が解消され民生の安定が図られる。 【除雪のため3時間以上通行止になった日数:25日(H12年)】 現道は、全幅3.0~4.0mで最急縦断勾配21%の急勾配路線であり、ヘアピンカーブが連続するなど、安全で円滑な走行ができないためバイパス整備により早期にこの解消を図る。 				
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 上山高原エコミュージアムの拠点施設とサブ拠点施設との連絡の利便性が向上することにより、上山高原エコミュージアムの利用者が増加するとともに、過疎地域と都市部の交流が活発化し、過疎地域の自立促進が図られる。 				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁を4橋建設するため、残事業費は大きいですが、未買収地の取得に目途がついていることから、円滑な事業進捗が図られる。 【青下地区~救急指定病院(湯村温泉病院)までの所要時間:35分 29分(6分短縮)】 				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 切土・盛土のり面は、周辺植生に配慮した緑化等によるのり面保護を行い、周辺環境への影響を最小限に止める。 				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 青下集落の冬期孤立の早期解消及び上山高原エコミュージアムの利用促進による地域の活性化のために早急な整備が望まれる。 				
再評価の結果	継続	左記 の 理由	上記の理由により事業継続が妥当である		